

高知県1漁協合併特集「この人に聞く」!

～No.3 黒潮町産業振興課 武政 登さん～

高知県海洋部

かつお通信

高知市丸の内
高知県海洋部
発行人 坂東 隆志
編集人 海洋 企画課
定 価 無料



出荷サイズのイワガキを手にする武政さん

県内の海面漁協を一つに合併する県1漁協構想の取り組みについては、現在、県内に一巡する組合員との意見交換会(3回目)を終えたところだ。

今後各漁協では、臨時総会開催に向けた理事会の開催など臨時総会開催の準備に入り、8月25日には県内全漁協で合併の是非を問う臨時総会が一斉に開催されることとなります。

今回は、県1漁協合併特集「この人に聞く」の第3回目で、黒潮町産業振興課水産振興係の武政係長さんに、合併に対する意見や、黒潮町が予定する県1合併に参加する漁協への財政支援などについて聞いてみました。

「まず、黒潮町の漁業の概要から教えてください」

「黒潮町は、旧佐賀町と旧大方町が合併して平成18年3月に誕生しました。

旧佐賀町では遠洋近海・沿岸カツオ一本釣りを中心とし、その他曳き縄釣り、モジャコ(ブリ稚魚)の採捕などが行われています。佐賀と言えば、毎年2月頃、カツオ船の第一陣が出漁するというニュースを見られる方

も多いと思いますが、カツオの町というイメージがすっかり定着しており、タタキの加工場や修学旅行生などを受け入れるタタキつくり体験施設などカツオを中心とした地域づくりが進んでいます。

一方旧大方町の漁業は、モジャコ採捕、ちりめんじやこをとる、パツチ網漁業の外、沿岸の一本釣り、定置網等が主体となっています。

黒潮町内の漁協は、平成13年に旧大方町内の4漁協が合併して設立された大方町漁協と、佐賀町漁協の2つがあります。

大方町漁協は、いわゆるセリを行わず、共同販売という形で組合員が獲ってきた魚を販売している県内で唯一の漁協です。以前は市場も運営していましたが、魚の値段が安い現状を打開しようとして、漁業者自身が獲ってきた魚を仕分け、箱詰めし、漁協の職員が毎日送られてくる全国の市場の値動きを見ながら、これらを出荷しうとする新たな販売に挑戦してきた漁協です。」

県1漁協を推進しよう

● 購買は漁協を利用しよう

● 預金、公共料金は信漁連へ

「黒潮町産業振興課の概要も教えてください」

「黒潮町は、旧町単位で管轄区域を分け、本庁舎である大方庁舎は旧大方町を管轄しています。私の所属する産業振興課は、農林水産業や商工業等、産業振興全般を担当しています。」

「武政係長の業務内容は?」

「水産振興の外、港湾、漁港、海岸など海水に浸かっているものは全部担当しています。比率では水産振興とその他で半々です。」

「大方地区については、旧町時代から水産振興にはかなり力を入れてこられていますね。」

「藻場造成については、ウニを駆除する方法を上川口地区で試したところ磯焼けの状態から見事な藻場が復活しました。今後は漁業者自身で管理する方法を探っていくことにしています。」

また、漁業者の経営安定のため試験段階レベルですがイワガキ養殖にも挑戦しています。その他、ヒラメの種苗放流や女性部の加工事業支援などにも取り組んでいます。」

「そんな中、県内の市町村では初めて、黒潮町が漁協合併支援のための予算を計上されたという内容ですが、どういった内容ですか?」

「一町内の両漁協は、漁業環境の悪化から、累積赤字を抱えており、現状のままでは新たな借入も困難となり、経営破綻も懸念されています。」

「このような状況をみた場合、漁協合併は避けて通ることは出来ませんが、今回の県1合併では、参画基準が設けられ、基本的には新漁協に赤字を持ち込むことが出来ず、県1に入るには改善計画を立てて、概ね3年以内に赤字を解消することが条件となっています。」

特に大方町漁協では、改善計画の内容が非常に厳しいものとなりましたが、漁業は地域の基幹産業であり、地域経済への貢献も大きいことから、県1合併への障壁となっている財務の改善について、町として支援することとなりました。具体的には、8月の合併総会後に、大方町漁協五百万円、佐賀町漁協千五百万円の財政支援をすることにしています。」

「黒潮町の漁業あるいは高知県の漁業はどういった方向に進むべきだとお考えですか?」

「今の漁業を大きく変えることは非常に難しい。しかし、今こそ漁業者と行政が一体となって魚離れを止める取り組みや売る取り組みを行っていくべきだと考えています。」

大方の漁業者は、自ら獲ってきた魚を加工、パックして売り歩いています。そうだった旬の魚の美味しさを訴えていく、そういう姿勢が重要で、今後

も残していくべきです。」

「最後に漁業者、県民の皆さまに一言お願いします」

「地元で獲れる魚は、値がよいものは県外へ送られるため、地元の子供、親でさえも、旬や美味しさを知りません。是非これらを知って、たくさん食べて欲しいと思います。」

「ありがとうございます。」

【武政さんの横顔】
高校卒業と同時に大方町職員。以来通算20年、職員生活の2/3で水産畑を歩む。趣味は砂の彫刻。TVチャンピオン(テレビ東京)では2位、世界大会へも出場3回の実績を誇る。51才。

【編集後記】
武政さんに聞いて初めて知ったが、砂の彫刻は世界大会も多く、これだけで生計を立てるプロもいるとか。大会に招待を受けると旅費も無料らしい。(エコミーで行って失敗したとも)しかし、こたつのスィッチまで砂で作るというディーブな世界。とても新規参入は無理?

流通改善・販売促進はお任せを!

水産物売り出したい、一次加工をしたいなどの相談があれば、まずはお電話下さい。選りすぐりのスタッフを直ちに急行させ、きつとあなたのお役に立ちます!

- 室戸漁業指導所 TEL 0887-22-0645
- 中央漁業指導所 TEL 088-856-1164
- 土佐清水漁業指導所 TEL 0880-82-0569
- 宿毛漁業指導所 TEL 0880-67-0767

